

Satsuma Sendai



薩摩川内市 岩切秀雄 市長

3月2日(月)、平成21年第1回市議会定例会で、岩切秀雄市長が述べた市政に関する考え方や方針の概要を紹介します。
なお、全文は市ホームページに紹介しています。

平成21年第1回市議会定例会

「施政方針の概要」

▼5年目を迎えた 薩摩川内市

今 年は薩摩川内市誕生から5年目を迎え、計画期間10年間の市町村建設計画および第1次薩摩川内市総合計画基本計画の中間総括となる年です。私の進める政策は、許される財政条件の中で、市民の皆さまが求める行政ニーズと合致することが基本ですが、今後、自治基本条例に基づき、地区コミュニティ協議会を始めとするあらゆる皆さまと協働しながら、多様性を持つ「みんなのふるさと躍動薩摩川内」の実現に向け、なお一層、奮励努力いたします。

▼本市をめぐる 最近の動き

■世界同時経済危機
サブプライム住宅ローン問題が実体経済に波及し、100年に一度といわれる世界同時経済危機が発生しました。そして、我が国の景気後退局面が、本市

の経済社会にも大きく影響し始めています。

本市としましては、雇用対策、経済対策として緊急臨時職員雇用対策を進めていきます。また、財政事情が許す限りではありますが、今後も引き続き、積極的な対応を図りながら、安全・安心な地域社会の形成に努めたいと考えています。

■川内原子力発電所3号機

1月8日に九州電力株式会社から、環境影響評価準備書の報告と併せて、増設の申し入れが



ありました。

私は従来から、原子力発電は地球温暖化や電力の安定供給の観点から、安全と情報公開が確保されるのであれば、その必要性があると述べてきました。一方、川内原子力発電所3号機増設に関しては、現在、準備書に係る内容の詳細な分析や検討を進めており、市民の皆さまや市議会のご意見を踏まえながら、国や県と十分に連携して適切に判断していく考えです。

■県産業廃棄物 管理型最終処分場

平成21年度は建設に向けた基本計画の策定と基本設計が予定されており、引き続き、県に対して地元住民の皆さまへの理解に向けた取り組みや情報公開の徹底などを求めていきます。

■汚泥再生処理センター

高度技術提案型の総合評価落札方式により業者を選定し、今後3年間の施設整備、15年間の維持管理・運営が行われることになりました。

▼本年度の施策概要

平成21年度から23年度までの3力年についての戦略方針、いわゆる「政策展開に関する戦略的な基本方針」を策定し、これを基に薩摩川内市総合計画(平成21~23年度期)実施計画と、「暮らしを守り・活力を生み出す・元気づくり予算」と位置付けた平成21年度予算案を編成しました。

特に、観光交流政策については九州新幹線全線開業までのおおよそ24カ月を好期ととらえ、川内駅周辺地域のみならず、甌島を含めた各地域の観光資源を有効に活用しなければなりません。そこで、平成21年度は、薩摩川内市観光振興基本構想を基礎とする「薩摩川内市観光元年」に位置付けたいと考えています。



また、本市の都市文化、田園

文化、海洋文化ゾーンの各ゾーン間の医療福祉、交通、情報通信などの分野における格差解消を目指して、「薩摩川内版地域力創造プログラム」を策定し、平成21年度から諸施策に着手します。平成21年度は、次の五つの重点項目を掲げ、諸施策を展開していきます。



埼玉県立深谷商業高校の修学旅行体験学習(樋脇)

①共生・協働

改定時期となった地区「コミュニティ協議会」の地区振興計画に關して、本年8月までに改定計画案をご報告いただいた後、自治基本条例に基づき平成22年度スタートの第1次薩摩川内市総合計画下期基本計画へ反映したいと考えています。

また、昨年8月に第2期の行政改革推進委員会から、「さらなる『市民が主人公となる市政』推進の一環として新センターを設置する提言」をいただきました

た。これを受け新年度は、いわゆる「センター方式」のモデル地区を選定し、地区から行政への総合的な橋渡しといった職員の役割の在り方について、具体的に検討したいと考えています。

②安全・安心

青色灯防犯活動事業補助や地域防災リーダーの育成、民間木造住宅の耐震診断・耐震改修補助などを新規に取り組みます。このほか、地域公共交通利用促進事業や消防団員の活動環境の充実を図るための消防団車庫詰所の整備を引き続き進めていきます。

③活力・交流

集落営農組織づくりの支援を行う、がんばる地域集落営農推進事業や提案公募型農業農村活性化モデル事業、唐浜漁港の浮桟橋設置事業、海外観光客



誘致促進事業、九州新幹線全線開業プレキャンペーン事業、薩摩川内人の心「薩摩川内スピリッツ」をキャッチフレーズとしたシテイセールスを推進します。

④スピード・品質

地方分権を見据えた次期「市政改革大綱」を策定します。現在、行財政改革の一つとして職員数の削減を進めていますが、さらに職員研修やSMART作戦の充実を図り、限られた職員個々の能力を高め、多様な行政需要に十分に応えられるように努めます。

⑤人材の育成

これまで、水引、祁答院および里の三つの中学校区で試行してきました小中一貫教育を、市内すべての中学校区で本格的に展開していきます。



水引小・中学校合同一日遠足

▼予算の大綱

本市の平成21年度当初予算につきましては、極めて深刻化しつつある本市地域の景況感にかんがみ、先に述べた重点5分野への重点配分に努めたほか、雇用創出や地域経済対策など喫緊の行政課題への最大限の配慮に努めました。

これらの結果、一般会計当初予算の規模は460億2000万円、簡易水道など16特別会計の合計で262億6217万円となりました。

▼結び

私が市長に就任し、3カ月が過ぎたところではありますが、人口減少社会の中で、現在の景気局面によって地方がますます衰退するとの不安感が、日増しに広がりを見せています。

私といたしましては、挑戦姿勢で職員とも一丸となって取り組み、この難局を乗り越える決意です。

